

## NPO・市民活動団体紹介のページ

# はこだて検定合格者の会

### ■どんな団体？

「はこだて検定合格者の会」は、箱館歴史散歩の会の中尾仁彦氏の呼びかけで平成26年に誕生しました。

平成25年の第8回「函館歴史文化観光検定（はこだて検定）」で受験者（初級・上級合計）が223名と減少し、「はこだて検定」存続の危機感から、上級合格者が集まり、「はこだて検定」の認知度を高め、「はこだて検定」の受験者増加に向けた活動をスタートしました。

3年間、「函館山七福神巡り」などの街巡りや、講演会などの活動で「マスコミ」に掲載される（平成28年度は29回）ことにより「はこだて検定」の認知度を高めるとともに、受験相談会などで受験者増と、受験者支援を行ってきました。

この活動もあり、昨年の第11回「はこだて検定」では受験者（同上）が366名と、第8回の1.64倍に増加しています。



運営委員会でのイベントの打ち合わせ

### ■団体のPR

昨年末では、会則も役員もない各自の自発的な組織でした。今年1月総会を開き、会則・役員も決め、より社会に貢献できる組織を目指しています。

今までも行ってきた、講演会、街巡り、受験相談会の活動はこれからも行っていきます。それとともに、受験者の学習支援の活動を今年から強化していきます。その一つが「受験講座」です。「はこだて検定」のテキストの7章ごとに、模擬問題とその解説の中で理解を深めていきます。「はこだて検定合格者の会」による徹底した過去問題の分析から模擬問題を作っていることで、実践的に学習できます。

**どんな問題が出るか不安、なかなか受験への一歩を踏み出せないという方はぜひこの「受験講座」（8月開校予定）を受けて、「はこだて検定」にチャレンジしてください。**「はこだて検定合格者の会」は、あなたの努力を支援します。

「はこだて検定」受験者の背中一押し「合格者の会」

### ■会員募集など

会員の条件として、はこだて検定の上級合格者限定です。受験者の支援など、一定レベルが求められるためです。

過去に78名の上級合格者がいるのですが、商工会議所が個人情報保護の立場から、個人名を明らかにしていません。

**「私は上級合格者」、「私の知り合いに上級合格者がいる」という方は、ぜひ情報をお寄せください。**

○正会員は月1回程度の活動に参加いただける方で年会費2,000円

○賛助会員は会の趣旨に賛同いただける方で年会費1,000円。

### ■これからの活動

当面のイベントとしては、

●「函館山七福神巡り」

4月16日（日）午後1時 蔵島神社集合

●「函館の重要文化財巡り」

5月21日（日）午前10時 谷地頭電停集合

●「啄木来函100周年ゆかりの地巡り」

6月11日（日）

集合時間・場所  
未定

※各イベントとも参加費100円



「函館山七福神巡り」（住三吉神社）

## はこだて検定合格者の会

■代表者名／会長 山本 和雄 ■事務局名／宇都宮 哲朗 ■会員数／正会員8名、賛助会員4名  
 ■電話／0138-73-6871 ■メール kazuoyamamoto5@yahoo.co.jp  
 ■フェイスブック <https://www.facebook.com/hakodatekenteigoukaku/>

## NPO・市民活動団体紹介のページ

# 五稜郭の文化価値を考える会

### ■どんな団体？

「五稜郭の文化価値を考える会」は、2014年9月に立ち上がったばかりの会です。2009年に国内の「暫定リスト」入りをし、現在推薦候補入りを目指して動きを活性化させている「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録が実現したら、次は「五稜郭を世界遺産に！」という意気込みで活動をしています。そのために、五稜郭の広義の文化価値を多くの市民の皆さんに知っていただきたいという目的で情報発信に努めています。

### ■団体のPR

主な活動は、年2回の講演会と5回の連続講座の開催です。講演は五稜郭の歴史や箱館奉行所に関わった人物、開港時期の箱館の様子等を広く紹介する内容になっています。講座は五稜郭に関する原資料を読み解きながら文化価値を検証していきます。

昨年は会員の皆さんの要望に応え、五稜郭公園内の普段はあまり行かないような所を実際に歩き、資料をもとに稜堡や土塁等の築造跡を確認する楽しいミニ講

座も実施いたしました。

また、会報「五稜郭の三世」を発行し、講演会や講座の内容について発信しています。

### ■会員募集

年会費は個人会員101,000円、団体会員105,000円です。

五稜郭に関心のある方、函館の歴史に興味のある方、是非 五稜郭を世界遺産にしたいと思っ方、どうぞ事務局にご連絡をお願いいたします。いつでも大歓迎です。

縄文遺跡群の次は、五稜郭を世界遺産に！



松村隆さんを講師に講演会を開催

### ■これからの活動

4月29日(土) 13:00～ 中央図書館視聴覚ホールで平成29年度総会と第7回講演会を開催します。講師は大野文保研の会長である木下寿実夫氏で、大野と箱館の関係をお話していただきます。

第8回講演会は、6月16日(金) 18:00～ 中央図書館視聴覚ホール

講師は、郷土史研究者として、ご活躍の井上能孝氏です。武田斐三郎生誕一九〇年を記念して、五稜郭築造に込めた武田斐三郎の思いをお話していただきます。

今年も連続講座を5回予定しています。会報や新聞等でも開催案内をしますので、どうぞご興味のある方はご参加下さい。



連続講座の様子 五稜郭公園にて

## 五稜郭の文化価値を考える会

■代表者名／佐々木 馨 ■事務局名／五島軒 ■会員数／100名  
 ■電話／0138-23-1106 FAX／0138-22-8073  
 ■メール 3z636i@ncv.jp